

(様式2)

2021 年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 函南町立函南中学校 】

1 実践テーマ	①・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	中学校1年生 5クラス 143名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 () ③
4 目標 (ねらい)	オリンピックのサイクリング競技が身近な場所で開催されることを機会に、オリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関することを学ぶ。この学習を通して、オリンピック、パラリンピックを身近に感じると共に、スポーツを通して心と体を鍛え、世界中の人々との交流に関心をもち、より平和な世界を築こうとする精神を育てる。 また、オリンピックやパラリンピアンへの講演を聴くことで、自分の夢に向けて挑戦しようとする意欲を高めたい。
5 取組内容	5月13日(木)2校時 総合的な学習 オリンピック講演会事前学習 「パラリンピックなんだろう」 ・ I' m POSSIBLE を活用して、オリンピックの基礎知識の学習 ・ 「パラリンピアンによる講演会の事前学習」 ・ パラサイクリング競技の映像視聴 ・ 講師の紹介

5月13日(木) 3・4校時

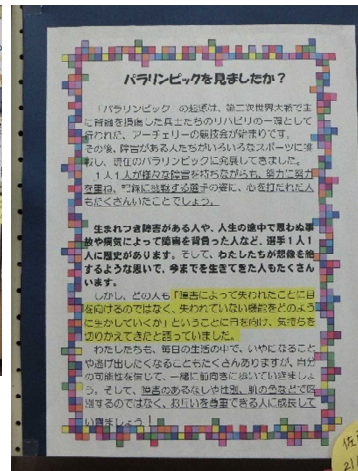
オリンピック講演会 飯島 誠 さん (自転車競技)

演題『オリンピック・パラリンピックの自転車競技を知ろう+「夢」』



1学期末～2学期

オリンピック・パラリンピックの掲示(保健室の掲示版)



11月2日(火) 4校時 総合的な学習

パラリンピアン講演会事前学習

「車いすバスケットってなんだろう」

- 車いすラグビー競技の映像視聴
- 車いすラグビー競技の説明
- 講師の紹介

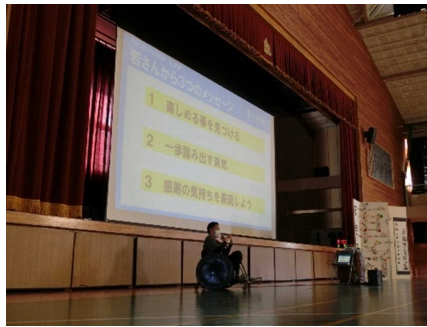
12月2日(木) 5・6校時 総合的な学習

パラリンピアン講演会 若山 英史 選手(車いすラグビー競技)

演題『感謝の気持ちを伝えよう』

車いす体験(タックル体験・リレー)

- 講演会



• 車いす体験(タックル)



• 車いす体験(リレー)
• 若山選手へのお礼



千羽鶴の贈呈



エール・ハカ

- ・若山選手との交流
東京パラリンピックの銅メダルを見せていただく



6 主な成果

◆オリンピック(5月)・パラリンピアン(12月)講演会終了後のアンケート結果

①講演会や体験を通して、スポーツの意義や価値について興味や関心を高めることができたか？

- ・できた 5月(65.9%) → 12月(69.2%)
- ・少しできた (29.0%) → (28.5%)
- ・あまりできなかった (2.2%) → (0.8%)
- ・できなかった (2.9%) → (1.5%)

②講演会や体験を通して、オリンピック・パラリンピック(パラスポーツ)に興味や関心をもつことができたか？

- ・できた 5月(65.9%) → 12月(68.5%)
- ・少しできた (26.1%) → (28.5%)
- ・あまりできなかった (5.1%) → (1.5%)
- ・できなかった (2.9%) → (1.5%)

③講演会や体験を通して、障がい者への理解を高めることができたか？

- ・できた 5月(19.6%) → 12月(27.2%)
- ・少しできた (50.0%) → (52.3%)
- ・あまりできなかった (26.8%) → (16.2%)
- ・できなかった (3.6%) → (3.8%)

④オリ・パラ学習は、自分の生き方や夢を前向きに考えたり、変えたりするきっかけにできたか？

- ・できた 5月(44.9%) → 12月(51.5%)
- ・少しできた (44.9%) → (37.7%)
- ・あまりできなかった (8.7%) → (6.9%)
- ・できなかった (1.4%) → (3.8%)

◆生徒感想より

(オリ・パラ学習を通して、学んだこと)

人と協力し合い、助け合っていくことが大切だということが分かった。障害をもっている方々には何かしらアクションをおこし助ける、又障害をもつ側も何かしらのアクションをおこし、お互い助け合うということが今回の講演会で分かった。

今までには車いすラグビーという競技があることも知らなかったけど今回の講演会をきっかけにとっても車いすラグビーに興味を持ちました。こんなことがあっても立ち直り、新しい目標を持つことで、なにか未来があるということがわかりました。これから若山さんみたいに勇気を持って頑張っていくことです。

若山さんの言葉、ほんとにアツクときて、新しい考え方や、これからについて考えるよい機会に感じたと思います。何でも、ちやとの勢いで、楽しい人生に帰るんだという事に気づかされました。本当にプラスしかありません。こんな機会を頂けて嬉しく思います。ありがとうございます。

若山さんのお話、聞いて、一歩ふみ出す勇気が一番心に残りました。今まで、やりたいと思っていた事を、ほづかしいから自信がないから...などのネガティブな気持ちがあり出来なかった事が、数多くありました。この講演を聞き、気持ちが変わり、もうとせ、勇気で行こうと思ひました。

5月と12月にオリンピック・パラリンピアンを招いて講演会を2回実施した。

5月のオリンピック講演会により、オリンピック・パラリンピックの自転車競技が地元開催であることを知ることができた。しかし、開催が夏休み中であり生徒に観戦を呼びかけることができなかつたのが残念であった。

12月のパラリンピアン講演会後のアンケート結果から、「スポーツの意義や価値について興味や関心を高めることができたか」では、69.2%の高い割合であった。生徒の感想からわかるようにスポーツを通して、「楽しめることを見つけること」「一歩を踏み出す勇気」の大切さを学ぶことができたと思われる。

「障がい者への理解を高めることができたか」では、「できた」とした生徒の割合が「27.2%」と伸びてきている。パラリンピアン講演会が障がい者理解や健常者と障がい者の共生につながる学習になっていることも実感できた。

実施直後のアンケートを比べると「できた」と断言している生徒の割合が増加している。2回の講演会を実施することで、着実にスポーツ及びオリンピック、パラリンピックへの興味関心を高め、意義や歴史を学ぶことができたと思われる。また、オリンピックとパラリンピアンを招いたが、アンケート結果より12月のパラリンピアン講演会の方が「できた」と断言している割合が増えている。生徒にとってパラリンピアンの方が印象に残ったようである。また、12月は車いす体験もさせていただいているので体験が生徒により影響を与えているとも考えられる。

講演会で「夢」についても話をさせていただくようお願いをした。そのため、「自分の生き方や夢を前向きに考えたり、変えたりするきっかけに

	<p>きたか」では、「できた」とした生徒の割合が「51.5%」と高い割合になった。講演会を通して、前向きに生きていこうとする機会にもなったと思われる。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 自転車競技のオリンピックを講師に招き、地元で開催されるオリンピック・パラリンピックの自転車競技への興味関心を高めた。同時に選手を応援することで、オリンピックパラリンピックへの興味関心を高めた。 • パラリンピアン講演会やパラスポーツ体験を増やすことで、障がい者への理解を高め、福祉教育につなげる。 • 来てくれた講師の方々にエール、校歌、集団演技、千羽鶴のプレゼントにより感謝の気持ちを伝えた。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 総合的な学習の時間を活用したが、時間の確保が難しい。(オリパラ学習以外の学習も進めているため) • I'm POSSIBLE はとても良い資料で活用しやすかった。しかし、本校には1セットしかなく、5クラス同時に授業ができず時間割の変更をしなければならなかったため、クラス数分が必要である。 • 講演会は生徒にとっても好評であった。来年度以降、予算がなく自校で講師を探すのはとても大変であることを実感した。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 継続して、総合的な学習・道徳にオリパラ学習を取り入れたいと考えている。来年度の本校の予定が未定なので、現段階では内容も未定である。